

第127回神奈川大学日本常民文化研究所研究会



景德鎮における 伝統製磁道具について

王麗氏 江蘇師範大学専任講師

日時: 2021年7月21日(水) 17:30~19:00

会場: Zoomミーティング 【開場: 17:15】

申込方法: 7月19日(月)12:00までに、ご氏名とご所属を明記し、jomin-kenkyukai@kanagawa-u.ac.jpまでメールをお送りください。追って参加ID/PWを送信いたします。

主催: 神奈川大学日本常民文化研究所

景德鎮における伝統製磁道具について

江西省の景德鎮市は、中国で最も有名で最も歴史がある磁器の都である。景德鎮では「玉のような白さ」「紙のような薄さ」「鏡のような明るさ」「磬のような快音」という4つのことわざがある。このことわざが景德鎮の磁器の4つの特徴を表現する。その4つの特徴を支えるのは景德鎮の製磁技術及び道具である。

そこで本発表では伝統製磁道具に焦点を合わせ、その全体像を概観し、景德鎮ならではの道具を紹介しつつその道具の多様性、地域性の特徴を考察する。